



# BANDAI NAMCO NEWS

Group News Letter

No.5  
2006  
August

株式会社バンダイナムコホールディングス 〒108-0075 東京都港区港南2-16-2 太陽生命品川ビル9F <http://www.bandainamco.co.jp/>

## Management Eyes

## 経営統合から1年を迎えて

### グループのノウハウの融合により シナジー効果が具現化

2005年9月にバンダイとナムコが経営統合し、共同持株会社の(株)バンダイナムコホールディングスを設立してから、まもなく1年になるうとしています。今回はこの1年の歩みを振り返るとともに、着実に進んでいる再編やグループシナジーについて、バンダイナムコホールディングスの高須武男社長に聞きました。

\*\*\*\*\*

——経営統合から1年になります。

高須 わずか1年の間に、これだけ速いスピードで再編できたことに対して、関係者の皆様に心よりお礼を申し上げたいと思います。

この1年を振り返りますと、まず国内では、昨年12月に関係会社株式管理業務などを持株会社へ移管し、今年1月には株式交換によりバンダイロジパルを完全子会社化しました。また、3月には施設運営を行う新生ナムコを新設分割により設立し、バンダイとナムコのゲーム事業を統合してバンダイナムコゲームスを設立するとともに、2社のバックオフィス機能を集約しました。6月にはバンプレストも株式交換により完全子会社化しました。

一方、海外でも、北米地域の組織再編を行い、今年1月に地域持株会社を設立し、事業会社の再編も行いました。これで経営統合に伴う再編はほぼ終了し、中期経営計画の推進にあたり、最適な経営体制が整ってきたと考えています。

この間、社員の意識も変化しまし

た。「お互いの会社をもっと知りたい」、「グループの人たちともっとコミュニケーションをとりたい」という社員が増えています。すでに人材公募や次世代のリーダーを育成するプログラムを共同で行っていますが、さらに幅広い層の社員が参加し、交流を深められる機会を設けたいと思っています。また、社員の意見や提案をどんどん吸い上げられる環境づくりを行っていきたいと思います。

——グループシナジーの具体的な成果は現れていますか？

高須 さまざまな事業分野でグループシナジーが発揮されていますが、アミューズメント施設では、バンダイナムコグループのノウハウを融合させた「ナムコ ワンダーパーク ヒーローズベース」が、9月28日に川崎駅前にオープンします。これは経営統合の集大成とも言える大型施設で、バンダイが得意とするキャラクターマーチャンダイジングのノウハウと、ナムコのロケーションのノウハウが活かされているほか、統合記念論文で提案された社員のアイデアが活かされるなど、バンダイナムコグループのシンボリックな施設になると考えています。

この施設でも設置されませんが、いよいよバンプレストとバンダイナムコゲームスのシナジーが融合したコックピット型の大型筐体「機動戦士ガンダム 戦場の絆」が登場します。



バンダイナムコホールディングスの高須武男社長  
(10周年を迎えたナムコ・ナンジャタウンのエントランス)

これもバンダイナムコグループだからこそ実現した業務用ゲーム機であり、グループの技術の粋が集められています。

このほかにも、各SBU(戦略ビジネスユニット)や地域でコスト削減など効率化に取り組むとともに、さまざまなシナジー企画を着々と進めています。(次ページに続く)

### Contents

<b>Management Eyes</b> —————	1~3
経営統合から1年を迎えて 2007年3月期第1四半期の業績	
<b>News Topics</b> —————	4~9
「東京おもちゃショー2006」開催 たまごっちシリーズが続々と新展開 「ナムコワンダーパークヒーローズベース」が 川崎駅前に9月28日オープン 英国の複合型ボウリング施設4店舗を取得 ゲームの“効能”に関するシンポジウムを開催 コンテンツサイト運営のアニメチャンネル設立 ハピネットがモリガングを子会社化、他	
<b>Business Angle</b> —————	10~11
(株)ナムコ 代表取締役社長 東 純	
<b>Close-up Products</b> —————	12
業務用ゲーム「機動戦士ガンダム 戦場の絆」他	

## ■ 各SBUともに第1四半期は好調に推移し ■ 順調なスタートを切った新・中期経営計画

——新・中期経営計画がスタートしましたが、第1四半期の業績はどうでしたか？

高須 全体的に好調に推移し、当初の計画通りの実績となりました。各SBU（戦略ビジネスユニット）の状況では、まずトイホビーが好調でした。「たまごっちプラス」シリーズが引き続き人気ですし、データカードダスも牽引しています。

アミューズメント施設SBUは、昨年は苦戦しましたが、今年に入ってから回復基調にあり、しかも今期中に10店舗以上の大型施設のオープンを予定していますので、今後に期待できます。ゲームコンテンツSBUは、家庭用ゲームソフトの注力タイトルが第2四半期以降に集中していますが、「タイムクライシス4」など業務用ゲーム機が好調です。

ネットワークSBUは、グループ

のシナジーサービス「SDガンダムRPG」を投入するなど、堅調に推移しています。映像音楽コンテンツSBUは、DVD販売が引き続き好調です。中期経営計画は順調なスタートを切ることができたと思っています。

——海外における事業の進捗状況を教えてください。

高須 トイホビーSBUでは、「たまごっち」の人气が全世界で続いていますし、「Power Rangers」シリーズが欧米地域で好調です。ゲームコンテンツSBUは、国内同様家庭用ゲームソフトが第2四半期以降に注力タイトルが集中しているほか、「タイムクライシス4」の導入もあり、今後に期待が持てそうです。

アミューズメント施設SBUは、アメリカ地域では引き続きレベニューシェア拠点の拡大やコスト削

減で効率化を進めるとともに、欧州地域ではボウリング場などの複合展開を行いました。7月には新たにイギリスで複合ボウリング施設4店舗を取得するなど、地域特性や環境に合わせた展開を推進しています。

アジア地域では、トイホビーSBUやアミューズメント施設SBUを中心に堅調でした。また、インドでの「Power Rangers」の導入など新たな展開にも着手していますが、中国同様こちらも中長期的に育成していきたいと思います。

いずれにしても海外事業の強化は中期経営計画における重要なファクターの1つです。このたび実施したドイツの玩具メーカーの完全子会社を目的とした公開買付は成立しませんでした。今後も地域特性を考慮しつつ、バンダイナムコグループの既存事業の補完や拡大、新規事業の創出に前向きに取り組み、海外事業の強化を図ります。

## ■ 所有する東ハトの株式を山崎製パンに売却 ■ 今後も事業面でコラボレーションを展開

バンダイナムコホールディングスは7月に、保有していた(株)東ハトの株式49,294株（発行済株式総数の37.7%）のうち、42,761株を山崎製パン(株)に売却しました。

バンダイナムコグループは2003年5月に東ハトに資本参加しました。以来、東ハトの菓子と、バンダイのキャラクターマーチャライジングのノウハウを融合させたコラボレーション商品を展開してきました。この結果、バンダイでは従来の玩具菓子だけでなく、菓자에ウェイトを置いた商品の本格展開が加速。今年3月に発売したコラボレーション商品の「チョコビ」は、570万個以上（6月末現在）を販売するヒット商品となっています。

バンダイナムコグループでは、今後も東ハトとの良好な関係を継続し、事業面でコラボレーションを展開していくほか、山崎製パンともビジネスパートナーとしての取り組みを進めていきたいと考えています。

## ■ グループの事業アドバイザーに ■ 日本トイザらスの田崎學氏が就任

バンダイナムコホールディングスの事業アドバイザーに、7月1日付で田崎學氏が就任しました。田崎氏は今年4月まで10年以上にわたり日本トイザらス(株)の代表取締役を務め、同社の発展に大きな役割を果たしてきました。今後はエンターテインメント業界および流通業界における豊富な経験とノウハウを活かし、経営戦略や新規事業などについてアドバイスをいただく予定です。なお、田崎氏は就任に当たり、次の通りコメントしています。

「経営統合により誕生したばかりのバンダイナムコグループは、新たなチャレンジの可能性にあふれており、このタイミングでバンダイナムコグループの事業に携わらせていただくことを個人的にも楽しみに感じています。今後は、これまでの経験を活かし、商品・サービスと施設運営の両面から、バンダイナムコグループの成長に少しでも貢献させていただきたいと考えております」

## 持株会社の役割は 一歩も二歩も先を見ること

—元トイザラス社長の田崎學氏が、このほど事業アドバイザーに就任しましたね？

高須 田崎さんはトイザラスでCEO（最高経営責任者）を務めた方ですが、我々の要請を受けていただき、このたびトイザラスで培った経営のノウハウを活かし、バンダイナムコグループの戦略や新規事業に関してアドバイスしていただくことになりました。田崎さんご自身も、ナムコの施設運営やバンダイのキャラクターマーチャンダイジングに大変興味があるということですので、現場を見て感じたこと、改革すべき点などを会議で発言していただいたり、私に直接報告していただき、経営に活かすことができると思っています。

—持株会社の役割をどのように考えていますか？

高須 純粋持株会社体制とは、経営戦略の策定・管理機能と、執行機能を明確に分離することで、経営のスピードを速め、コーポレートガバナ

ンスを強化し、グループの真の企業価値を創生していくことを目的にしています。ですから持株会社は、個々の事業会社と同じ目線であってもいけないですし、事業会社とかけ離れた目線であってもだめです。一歩も二歩も先を見て、適正な経営判断を行い、事業会社の公平な評価や、経営資源の有効配分を実行しなければなりません。そして何よりも大切なことは、グループ社員を盛り上げていく求心力を持たなければならないということです。

その意味でも緊張の日々ですが、幸いなことに、第1四半期は社員の頑張りで良いスタートを切ることができましたから、この流れを止めないように気を引き締めていきたいと思っています。

最後になりましたが、6月に開催された株主総会には、約1,000人もの大勢の株主の皆様にご出席をいた



だき、この場を借りて改めてお礼を申し上げます。厳しいご意見もいただきましたが、これもすべてバンダイナムコグループを愛し、今後に期待してくださっている証であると受けとめております。頂戴したご意見を大切にしながら、今後の経営に活かしていきたいと思っています。

何卒、今後もご支援のほどよろしくお願いいたします。

## Financial Data

2007年3月期第1四半期決算

バンダイナムコグループの2007年3月期第1四半期連結業績（2006年4月～6月）は表の通りとなりました。

トイホビー事業は、前期に引き続き「たまごっちブラス」シリーズが全世界で人気となるとともに、女兒層などのターゲット拡大を図った「データカードダス」が好調に推移しました。また、「轟轟戦隊ボウケンジャー」や「仮面ライダーカブト」などの男児キャラクター玩具が堅調に推移しました。

アミューズメント施設事業は、ファミリー層の集客が好調となるなど、既存店の売上が前年同期比104.5%と回復基調となるとともに、新業態店舗の出店によりさらなる業容拡大に努めました。ゲームコンテンツ事業では、家庭用ゲームソフ

トは注カタイトルが第2四半期以降に集中しているため堅調な推移となり、業務用ゲーム機は6月に発売した「タイムクライシス4」が国内外で好調な出足となりました。

このほか、ネットワーク事業は高付加価値ゲームコンテンツの積極的な投入により、収益基盤の強化を図ったほか、ネット広告事業への参入を行いました。映像音楽コンテンツ事業は、「機動戦士ガンダムSEED DESTINY」や「TAKESHIS」などのDVDが好調に推移しました。

### ◆2007年3月期第1四半期の連結業績

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
2006年4月～6月	99,119	8,656	8,993	4,077

## 「東京おもちゃショー2006」開催 連日大盛況だったバンダイの展示ブース

「東京おもちゃショー2006」(主催: 社団法人日本玩具協会) が7月13日~16日に東京ビッグサイトで開催され、国内138社、海外28社、合計166社の企業・団体が出展。3万5,000点を超えるおもちゃが展示されました。今年は3年ぶりに入場無料の一般公開が行われ、土日の2日間だけで約7万4,000人の家族連れなどが会場を訪れました。

バンダイブースでは、生誕40周年の「ウルトラマン」や、35周年の「仮面ライダー」シリーズ30作

目となる「スーパー戦隊」などの人気キャラクターを中心に、その歴史が一目でわかる特設ゾーンを設けたほか、新商品をお客様に直接体験し



バンダイのブース

ていただくために、タッチ&トライコーナーなどを多く作り、ヒーローやヒロインによるステージショーも開催しました。どのコーナーも大変な人気となり、これからのクリスマス・年末商戦が期待される盛況ぶりとなりました。



スーパーヒーローのステージショー

©テレビ朝日・東映AG・東映

## たまごっちシリーズが続々と新展開 他社とのコラボレーションも活発に

「たまごっち」がグループ内外で続々と展開されています。バンダイは7月22日に「たまごっちプラス」シリーズの最新商品「ウラじんせーエンジョイ! たまごっちプラス」(2,940円)と、ボードゲーム「しあわせイッパイ! ゆめイッパイ! これがたまごっちの生きるみっちゲーム」(3,675円)を発売。バンダイナムコゲームスは、ミリオンヒットを記録したニンテンドーDSソフト「たまごっちのプチプチおみせっち」の第2弾として、「たまごっちのプチプチおみせっちごひーきに」(5,040円)を7月27日に発売しました。

たまごちは他社とのコラボレーションも積極的に行われており、(株)日本航空が「みんなの夏空キャンペーン」のイメージキャラクターに採用し、「たまごっちジェット」を就航(7月14日~8月31日)。また日立マクセル(株)は、業界で初めて「たまごっち」のキャラクターの刻印を電池本体に施したコイン形リチウム電池(CR2032)を8月10日に発売しました。

「たまごっちプラスシリーズ」は今年の秋以降に第4弾の発売が予定されているほか、8月より中国本土での販売も本格スタートしました。



「ウラじんせーエンジョイ! たまごっちプラス」の発売日の様子

### バンダイが今年もHondaチームに協賛 仮面ライダーカブトで鈴鹿8耐に挑戦

バンダイは、今年も「FIM2006世界耐久選手権シリーズ第5戦 鈴鹿8時間耐久ロードレース」(通称: 鈴鹿8耐)に、「仮面ライダーカブト Honda DREAM RT」の協賛として7月30日に参戦しました。今回で4年目となる鈴鹿8耐では、徳留和樹選手の負傷というアクシデントにも関わらず、総合6位に入賞し、2人のライダーが懸命に疾走する姿は7万3,000人の観衆に感動を与えました。

当日は例年大好評の「仮面ライダーKIDSなりきりパレードラン」や「仮面ライダーVillage」なども実施し、モータースポーツファンだけではなく、ファミリー層に対しても「仮面ライダー」ブランドをアピールしました。

今年仮面ライダーの生誕35周年にあたることから、さまざまな企画も実施されており、7月22日と23日には東京ドームで「ダブルヒーローフェスティバル」が開催され、5万6,000人を動員しました。また、8月5日からは「劇場版仮面ライダーカブト」も公開され、夏の話題を仮面ライダーで盛り上げました。



疾走するHondaチームの山口辰也選手

©2006 石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映

(表示価格はすべて税込です。仕様・発売日・価格などは本紙発行時点の情報につき、変更になることもあります)

## アパレル事業で コラボレート企画を続々展開

バンダイのアパレル事業は、他企業とのコラボレート企画を積極的に展開していますが、このほど子供服の大手メーカー(株)ベベと初のコラボレーションを行うことになり、20~30代の女性に人気の高いアランジアロンゾ社がデザインしたキャラクター「アランジアロンゾこども」をモチーフにしたベビー服&雑貨シリーズ「ARANZI ARONZO kodomo x e.a.B」を8月下旬から展開しています。

一方、2005年4月からコラボレーションを行っている(株)ユニクロとも、新しい企画が続々と進行しており、9月中旬には「たまごっちTシャツ+ちびたまごっち 第2弾」(1,990円)を、9月下旬に「オセロゲーム半袖Tシャツ+マイクロコンピュータオセロ」(1,990円)を、10月上旬には「デジモンセイバース長袖Tシャツ+デジモンミニ」(1,990円)を発売する予定です。



ARANZI ARONZO kodomo x e.a.B  
©ARANZI ARONZO INC.

## 夏休み期間中にイベント続々開催 「ガンプラEXPO」も初めて開催

7月~8月にかけて全国各地でさまざまなイベントが開催されました。バンダイナムコグループでは、ウルトラマンをテーマにした「ウルトラマンフェスティバル2006」、キャラクターホビー商品が集まった「C3×HOBBY2006(キャラホビ2006)」、そして家庭用ゲームソフトやカードゲームユーザーを対象とした「ジャンプスーパーゲームツアー」などに参加。いずれのイベント会場でも、子供から大人までの幅広い層にキャラクターや商品の魅力をアピールしました。



「ウルトラマンフェスティバル 2006」の模様  
©円谷プロ

また、8月23日~8月30日にはバンダイ主催の「ガンプラEXPO」を開催し、第1作目から最新作までの世界観を映像やジオラマなどで展示したほか、記念限定品の販売なども行いました。

## ケロロ軍曹「ケロロ24」

発売中/3,150円 (株)バンダイ

大好評放映中の「ケロロ軍曹」(テレビ東京系/毎週金曜17:30~)が、携帯液晶ゲームになって登場。ケロロ軍曹の生活を観察しながら、タッチペンを使ってお手伝いを頼んだり、ミニゲームをすることで、さまざまなイベントが発生します。また、ケロロ小隊はもちろん、いろいろなゲストキャラクターも登場します。



©吉崎観音/角川書店・サンライズ・テレビ東京・NAS

## エクセレントシリーズ クリスタルコミュン

9月上旬発売予定/3,675円 (株)バンダイ

「ふたりはプリキュア SplashStar」(テレビ朝日系/毎週日曜8:30~)に9月から登場するアイテムです。付属のストラップで首から下げられる新しいタイプのコミュンで、「振る」と「息をふきかける」の2つの動作で変身遊びやお世話遊びが楽しめます。またクリスタルコミュン同士や、9月下旬発売予定の「スプラッシュコミュン」(9,975円)とも通信して遊べます。



©ABC・東映アニメーション

## ブロックレール トーマスとハロルドの空中さんぽセット

発売中/5,229円 (株)バンダイ

自由に組み替えができるブロックレールを使っていろいろなコースを作ることができるセットです。電動で走るトーマスが付属し、通常の手転がしに新しい遊びが加わりました。またハロルドとの空中さんぽなど、ギミックも満載です。発売中のポケットファンタジーシリーズと合わせて遊ぶこともできるほか、10月には第2弾と拡張セットが発売予定です。



©2006 Gullane (Thomas) Limited.

## サウンドロップ ドラゴンボールZ

発売中/200円 (1カプセル1個入り・全8種) (株)バンダイ

幅広い層に人気を誇るドラゴンボールZが、ガシャポンの「サウンドロップ」に登場です。サウンドロップはボールチェーンが付いた音声ギミック付きのアイテムで、真ん中のボタンを押すと「かめはめ波っ!」、「みんな頼む!オラに元気を分けてくれ!」、「気円斬!」などと、マンガでおなじみの必殺技、名ゼリフが流れます。



©バードスタジオ/集英社・東映アニメーション

## 「ナムコ ワンダーパーク ヒーローズベース」 JR川崎駅前に9月28日オープン

(株)ナムコ(東 純社長)は、“夢のヒーローたちと出会う、触れあう、体験する”をテーマとした約1,150坪の大型アミューズメント施設「ナムコ ワンダーパーク ヒーローズベース」を、9月28日にJR川崎駅前に開業する大型商業施設「ラゾーナ川崎プラザ」の4階にオープンします。円谷プロダクション公認のキッズアミューズメント&ショップ「ウルトラマンCLUB」や、バンダイナムコグループならではの強みを生かした各種ショーやイベントを日替わりで行う「HERO'S STAGE」、そしておもちゃの工場をイメージした「C<sup>2</sup>ファクトリー」など、さまざまなコンテンツを楽しむことができます。バンダイとナムコが経営統合して1年。その集大成ともいえるグループシナジーが随所にちりばめられており、参加した誰もが主役(ヒーロー)になれる新しい施設です。なお、施設の総投資額は約10億円で、初年度は来場者200万人、年商15億円を見込んでいます。



©円谷プロ

### 「ナムコ ワンダーパーク ヒーローズベース」の概要

所在地 神奈川県川崎市幸区 (LAZONA川崎プラザ4階)  
面積 3,785㎡ (1,145坪)

#### <コンテンツ(一部)>

◇**ウルトラマンCLUB** 円谷プロダクション公認のキッズアミューズメント&ショップ。時間課金制の「ウルトラマンベース」では、隊員になりきって思い切り体を動かして遊べます。グッズ販売の「ウルトラマンワールドM78」は家族揃って楽しめる豊富な品揃えです。

◇**HERO'S STAGE** バンダイナムコの強みを生かしたキャラクターショー、人気声優のトークショー、ゲームイベントなどを日替わりで行います。

◇**C<sup>2</sup>ファクトリー** オモチャ工場をイメージした空間でタブレット、玩具菓子、トレーディングカードなどのキャラクターグッズを扱います。

## ナムコがヒーリング事業に参入 「ヒロット」「ダspa」をオープン

ナムコはヒーリングエンターテインメントを新規事業として確立させるため、トリートメントサロン業態とデイスパ業態でヒーリング事業に参入しました。

本格的なトリートメントを手軽に受けられるサロン業態の第1弾として、日本初のセブ式ココナッツオイルトリートメントサロン「ヒロット」を、7月15日にナムコ・ナンジャタウン内にあるヒーリングパーク「りらくの森」に直営店舗としてオープン。また、日常的に美と健康のリフレッシュを楽しめるデイスパ業態としては、岩盤浴と「ヒロット」サロンを複合させた女性専用デイスパ「ダspa (DASPA)」を8月8日に新横浜にオープンしました。今後は、ヒーリングモール業態も併せた3業態のヒーリング事業で、新しい癒しの文化を創造し、5年後に全国60店舗、売上50億円を目指します。

### 「ヒロット」店舗概要

所在地：東京都豊島区(ナムコ・ナンジャタウン内)  
面積：49.5㎡  
概要：日本初のセブ式ココナッツオイルトリートメント「ヒロット」を提供するサロン。「国際ヒロット協会」公認一号店。「ヒロット」をリゾート地セブ島をイメージした環境演出の中で体験できます。



### 「ダspa」店舗概要

所在地：神奈川県横浜市港北区  
面積：367㎡  
概要：デトックスを実現する代表施設である「岩盤浴」に、セブ式ココナッツオイルトリートメントサロン「ヒロット」を併設した施設。各地の自然環境が産んだミネラル成分豊富な名水や地サイダーなどを集結させた「地ドリンク博物館」も導入しています。

## 英国の複合型ボウリング施設4店舗を取得 アミューズメント施設事業の拡大図る

欧州地域におけるアミューズメント施設事業を統括するNAMCO OPERATIONS EUROPE LTD.(本社：英国ロンドン、マネージングダイレクター：マイク・ネビン)は、このほどイギリスのNumber Ten Ltd.が保有する複合型ボウリング施設4店舗を575万ポンド(約11億7,000万円)で取得しました。

今回取得した店舗は、ボウリング場、ゲームコーナー、ビリヤードコーナー、バースペース・飲食・プライベート(パーティー)ルームなどを備えた複合型ボウリング施設で、いずれもロンドン市郊外という立地の良さや、幅広い年代が楽しむことができるさまざまな機能を備えて人気を集め、安定した収益をあげています。

バンダイナムコグループは、欧州地域では英国・スペインを中心に複合アミューズメント施設を展開し、2005年度末までに12店舗の運営を行ってきました。今回の複合型ボウリング施設取得により、NAMCO OPERATIONS EUROPE LTD.では4店舗合計で初年度年間607万ポンド(約12億1,000万円)の売上を計画しています。今後はバンダイナムコグループの他の事業とシナジー効果を追求しながら、欧州地域におけるアミューズメント施設事業のさらなる売上拡大、収益の安定化を図っていきます。



今回取得した英国の複合型ボウリング施設

(表示価格はすべて税込です。仕様・発売日・価格などは本紙発行時点の情報につき、変更になることもあります)

## 米国の携帯電話向けコンテンツサービスで ジー・モードとライセンス契約を締結

米国で携帯電話向けコンテンツサービス事業を展開しているNAMCO NETWORKS AMERICA INC. (本社:カリフォルニア州、代表取締役社長・CEO:久恒健嗣)は、(株)ジー・モードとソースコードライセンス契約を締結しました。

ジー・モードは、パズル、対戦、アクション、RPGなど、携帯電話向けカジュアルゲームコンテンツのラインナップを保有しており、携帯向けゲームコンテンツの開発・配信ではパイオニア的な存在です。今回の取り組みでは米国ユーザーのニーズに適したコンテンツをNAMCO NETWORKSへライセンスします。一方、NAMCO NETWORKSは、米国の主要携帯電話事業者に対して「パックマン」や「ディグダグ」などの携帯電話向けゲームを配信する日系コンテンツプロバイダーの最大手で、今回の取り組みでは技術力、開発力とマーケティング力を生かし、ライセンスを受けたコンテンツをローカライズするとともに、米国の携帯電話事業者を通じて順次配信していきます。

両社は、カジュアルゲームのニーズが拡大し、今後さらなる成長が見込まれる米国の携帯電話向けコンテンツ市場において、それぞれの強みを活用し合い、事業の拡大を図ります。

### ゲームの“効能”に関するシンポジウムを開催

7月14日に「ゲームの処方箋プロジェクト」のシンポジウムが開催されました。このプロジェクトは、ナムコの50周年記念事業の一環として、早稲田大学、(財)ニューテクノロジー振興財団と連携して2005年度にスタートしたもので、これまで社会では否定的に取り上げられることが多かったビデオゲームに関して、科学的かつ中立的な視点からその影響や特性などを評価し、良い面(効能)とその活用方法(処方)に関して研究することを目的としています。

今回は「心理的効果を中心としたゲームソフトの効能の調査」などに関して発表があり、2005年度に進められた4つの研究テーマのすべてにおいて、ストレスの軽減、プレイ中の活気増加、有効視野角の拡大、さらに発達障害児の82%が精神状態をプラスに転化するなど、総じてゲームの効能が科学的に立証されました。

今後は、効能の高いゲームソフトを選定し、その処方箋を作成するなど、“ゲームのソムリエ”的な効能評価の確立や、科学的な根拠に基づく心理効果のあるゲームの共同開発、さらに子供向け遊戯施設に関する共同研究を行うなど、人とゲームの新しい関係を求めて研究の第2段階に入ります。



### ニンテンドーDS専用ソフト 「右脳の達人 ひらめき子育てマイエンジェル」

9月7日発売予定/3,990円 (株)バンダイナムコゲームス

本作は、ゲーム内での子育てや、さまざまなコミュニケーションを楽しみながら、クイズに答えて右脳もトレーニングできるゲームです。クイズの結果で子供の性格や容姿が変化だけでなく、プレイするたびに1,000種類以上収録したイベントを通して子供とふれあえるので、いつでも、何度でも楽しむことができます。

©2006 NBGI



### ニンテンドーDS専用ソフト 「たまごっちのプチプチおみせっち ごひーきに」

発売中/5,040円 (株)バンダイナムコゲームス

2005年に発売した前作が100万枚以上のセールスを記録したおみせやさんゲーム「たまごっちのプチプチおみせっち」シリーズの第2弾。新たに9つの店舗を新規収録したほか、「おはなやさん」など3店舗をリニューアル。パートナーの「たまごっち」と一緒にお店を大きくしていき、自分だけの「ショッピングモール」を作るという楽しさが一層広がりました。



©BANDAI・WIZ 2004 ©2006 NBGI

### プレイステーション・ポータブル専用ソフト 「ポータブルアイランド」

発売中/5,040円 (株)バンダイナムコゲームス

忙しい中でもプライベートアイランドを散策したり、ウクレレの演奏を楽しんだり、日常生活の中で南国のリゾート気分を味わうことができる“癒しツール”のゲームです。PSPを組み立て式スタンドに置いて、インターネットをしながらか、あるいは本を読みながらといった“ながら”の状態、島の景色や自然音を楽しみ、気が向いたら触って遊ぶ新しいスタイルのエンターテインメントをお楽しみください。



©2006 NBGI

### アミューズメント景品 「シナモロール キャラクタープラネタリウム」

9月末投入予定 (株)バンプレスト

アミューズメント用景品として人気のサンリオキャラクター「シナモロール」が映し出されるプラネタリウム「シナモロール キャラクタープラネタリウム」を、バンプレストが市場投入します。景品の電源を入れると「シナモロール」とその仲間たちが壁や天井に3色のカラーで映し出され、自分の部屋をかわいらしく演出します。また、ふたを閉めると自動的に電源が切れます。



©2002,2006 SANRIO CO.,LTD.

## アニメコンテンツサイトを運営する新会社「アニメチャンネル」を設立

バンダイビジュアル(株)(川城和実社長、東証1部)は、7月に(株)バンダイチャンネル(松本悟社長)との共同出資で、アニメーションの総合コンテンツサイトを運営する新会社「株式会社アニメチャンネル」を設立しました。バンダイビジュアルは、映像から音楽・出版へとコンテンツの幅を広げ、インターネットなど新たなメディアを利用したコンテンツビジネスの展開を目指しています。一方、バンダイチャンネルは映像配信ビジネスの分野で優れたノウハウを保有しており、(株)サンライズ(吉井孝幸社長)やバンダイビジュアルが権利を有する映像作品の配信も行っていることから、両社の持つノウハウを共有し、より効率的に活用するために、新会社を設立してインターネットを活用した新たなビジネスモデルの構築を目指すことにしました。

アニメコンテンツサイトは9月にサービスを開始し、DVDビデオやオリジナル商品などのEコマース事業をはじめ、音楽配信、映像配信、電子出版などを取り扱う予定です。

### 株式会社アニメチャンネルの概要

設立	2006年7月19日
所在地	東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル16階
代表者	代表取締役社長 藤川正之
資本金	2億円
株主	バンダイビジュアル(株) 51.0% (株)バンダイチャンネル 49.0%
決算	2月末日
事業	アニメコンテンツサイトの運営、顧客情報及びポイントシステム管理、Eコマース、アニメーション番組の映像配信、音楽配信、電子出版、インターネットラジオなど



## ガンダム新作アニメ「STARGAZER」ネット先行配信が好調なスタート

(株)バンダイ、(株)サンライズ、バンダイビジュアル(株)の3社が企画・製作し、7月より(株)バンダイチャンネルがネット先行配信を開始したガンダム新作オリジナルアニメーション「機動戦士ガンダムSEED C.E.73 -STARGAZER-」が、好調なスタートを切っています。この作品は、6月より配信を開始したプロモーション映像が100万視聴に達し、プラモデルも人気となるなど、配信前から注目度が高く、7月14日から開始した第1パートの有料配信\*では最初の3日間で2万有料視聴を記録。バンダイチャンネルの歴代最高月間販売記録を更新する見込みです。今後は8月18日より第2パートを、9月22日からは第3パートを期間限定で有料配信します。また、DVDはバンダイビジュアルが11月24日に発売を予定しており、グループ全体で同作品を盛り上げていきます。

\*「STARGAZER」は、全3パート(各約15分)を期間限定で、配信提携会社先のバンダイチャンネル・ページで配信します。期間・価格などは配信提携会社により異なる場合があります。

## DVD「機動戦士ZガンダムⅢ一星の鼓動は愛」

発売中/6,300円 バンダイビジュアル(株)

1985年に放送されたTVシリーズに新作シーンを加えて再構成した劇場版三部作「機動戦士Zガンダム」。その完結編となる「星の鼓動は愛」が、ついにDVDでリリースされます。TVシリーズとは異なる衝撃のラストシーンには、富野由悠季総監督の“今を生きる若い世代”へのメッセージが込められています。初回生産分のみ、富野監督とテーマ曲を手がけたGacktの対談などを収録した60分の特典ディスクと、特製ケースが付属しています。



©創通エージェンシー・サンライズ

## DVD「Short Cakes」(全1巻)

9月22日発売予定/2,940円 バンダイビジュアル(株)

2003年夏から今年春まで、インターネットのホームページ集合体“BOOK cafe”サイト内にある映画監督、長澤雅彦氏のホームページで無料配信していた連続短編映画「Short Cakes」。このネットシネマの第1~6話に、オリジナルストーリーを3話追加した全9話完全収録のDVDを発売します。人気若手女優の相武紗季が主演する“オモカワイイ”連続ショートムービーです。初回生産版には、完全密着撮り下ろしのメイキングスチールで綴られたミニ写真集などの豪華特典が付いています。毎回映像特典にもメイキング、予告編などの特別映像を付属するなど、特典満載の仕様となっています。



©2006 Book inc.

## DVD「ふしぎ星の☆ふたご姫Gyu!」(全13巻)

第1巻 9月22日発売予定/3,990円 バンダイビジュアル(株)

2006年4月からテレビ東京系6局ネットで放送されている人気TVアニメ「ふしぎ星の☆ふたご姫Gyu!」のDVD第1巻を9月22日に発売します(以降毎月1巻ずつ、全13巻を発売予定)。第2期シリーズとなる「Gyu!」は、学校に通うことになった主人公のファインとレインが活躍する魔法少女アニメです。また、第1期を見なかった人も、この1巻を見れば新シリーズをより楽しめる特別編集版DVD「ふしぎ星の☆ふたご姫Gyu! スペシャルぐるり☆ふしぎ星めぐり」(全1巻、1,890円)も好評発売中です。



©BIRTHDAY・NAS・TV TOKYO

(表示価格はすべて税込です。仕様・発売日・価格などは本紙発行時点の情報につき、変更になることもあります)

## 「タイトルが先だ！文学賞」 最終段階となる小説の募集を開始

バンダイネットワークス(株) (大下聡社長、JASDAQ 上場) が、(株)角川デジックス、(株)公募ガイド社と共同で4月より実施しているケータイ小説向け文学賞「タイトルが先だ！文学賞」が、ついに最終段階となる小説の募集を開始しました。

最近、携帯電話で小説を読むことができるサービスが増えています。このケータイ小説では、CDのジャケット買いと同様に、“タイトル買い”という現象が存在します。これは画面上の限られた情報のみで購読を決定するため、タイトルのインパクトが売上を左右するからです。そこで、この文学賞ではまず最も重要な要素である小説のタイトルを募集し、次にキャッチコピーと表紙のイラスト、そして最後に小説を募集するという、今までに類のない形態で募集を実施しています。

4月より募集した小説のタイトルには13万点以上の応募が、キャッチコピーにも6,000点以上の応募があり、ケータイ小説への関心の高さを示しています。小説は9月末日まで募集を行い、10月に発表する最優秀作品には、携帯サイトで発売した際の印税も支払われます。「タイトルが先だ！文学賞」は、このようにユーザー参加方式で作成し、ケータイユーザーのリクエストに応じていく文学賞を目指します。

## ハピネットが事業基盤の強化を目指し 大阪の玩具問屋モリガングを子会社化

バンダイナムコグループで流通機能を担う(株)ハピネット(苗手一彦社長、東証1部上場)は、6月19日に大阪の玩具問屋(株)モリガング(中井駿児社長)の株式99.3%を取得し、子会社化しました。ハピネットはモリガングの子会社化により、再編の進む玩具業界において、これまでの競合関係から協働体制を構築し、相互協力を行い、さらなる事業基盤の強化を進めていきます。また、ハピネットがこれまで培ってきた販売支援・物流・情報システムなどを活かしながら、両社のもつノウハウの共有と活用を行い、事業の拡大と効率化を図っていきます。

なお、モリガングは、これまで通り法人組織として事業を継続し、その中で適正な合理化を図り、シナジー効果の発揮を目指します。

### 株式会社モリガングの概要

所在地	大阪府茨木市宮島2-2-67
設立	1959年3月30日
代表者	代表取締役社長 中井 駿児
資本金	4億9,900万円
決算期	3月
事業	玩具の販売、オリジナル商品の企画・販売
売上高	145億円(2006年3月期)

## ケロロ軍曹 K66 折りたたみ自転車

予約受付中/25,000円(予価) バンダイネットワークス(株)

健康ブームによって最近人気上昇中の折りたたみ自転車がケロロ軍曹バージョンで登場します。ケロロ軍曹のイメージに合わせた黄緑色のボディは、見た目にもとてもオシャレで目を引くこと間違いありません。商品はバンダイネットワークスが運営するオンラインショップ「ララビットマーケット」でしか手に入らない完全受注生産で、ケロロファンにはたまらない自転車です。



©吉崎観音/角川書店・サンライズ・テレビ東京・NAS

## 携帯電話用ゲーム「たぐほーすi」

サービス配信中/315円(月額) バンダイネットワークス(株)

PC版ネットワークゲーム「タグホース5」の要素を惜しみなく利用し、携帯電話向けの本格的な競馬シミュレーションゲームにしました。自分の馬を育成し、レースに出すことを繰り返しながら、愛馬を成長させていきます。自分が作成したレースに友達を招待し、ネットワーク対戦で愛馬を競い合わせることもできます。1万4,000頭を超えるライバル馬や血統データなど、長年の歴史の中で培った広大な競馬の世界観をお楽しみいただけます。



対応端末: FOMA 90xシリーズ ©BANDAI NETWORKS・SQUEEZE  
アクセス方法: メニューリスト→ゲーム→ゲームバック→バンダイコレクション  
※月額315円でバンダイコレクション内のゲームはすべて遊ぶことができます。

## バンダイビジュアルの国内物流を ハピネットの物流子会社が受託

(株)ハピネットの100%子会社で、物流業務全般の受託を行っている(株)ハピネット・ロジスティクスサービス(飯田勉社長)は、9月19日よりバンダイビジュアル(株)の国内における物流業務を受託し、保管・物流加工・配送など、同社の物流業務全般を行うこととなりました。

ハピネットグループは、バンダイナムコグループの流通機能を担っており、今回のバンダイビジュアルとの包括的な物流業務の受託開始により、バンダイナムコグループの流通面での効率化を図り、効果的なグループシナジーの発揮に貢献していくことを目指します。ハピネットではこれまでに、エンターテインメント分野において販売支援・物流・情報システムが三位一体となった最適流通システムを構築してきましたが、今後もこのシステムを活かしながら、エンターテインメント業界における物流受託に積極的に取り組んでいきます。

## 新しい施設分野にも積極的に進出し 常に変化しながら鮮度を維持する

東京・池袋にある室内型テーマパーク「ナムコ・ナンジャタウン」が、1996年の開園以来、今年7月で10周年を迎えました。この間、ナムコは、フード、ヘルス、ヒーリング、カルチャーなどの分野にも事業を広げ、お客様の期待に応えてきました。今回はバンダイナムコグループでアミューズメント施設事業を手がけるナムコの東 純社長に話を聞きました。



ナムコ・ナンジャタウンの10周年記念セレモニー

——ナムコ・ナンジャタウン（以下ナンジャタウン）が10周年を迎えましたね？

東 ナンジャタウンは施設面積が約3,200坪あり、室内型としては日本最大級です。さまざまなアトラクションに加え、「池袋餃子スタジアム」「アイスクリームシティ」などのフードテーマパークを楽しんだり、ヒーリングパーク「りらくの森」で心や体を癒すこともできます。ナムコはナンジャタウンを開園して以来、従来のテーマパークとは違う新しい分野を切り開こうと、試行錯誤を繰り返してきましたが、おかげさまで多くのお客様から支持され、一つの形が出来上がってきました。ここはナ

ムコの考え方を表現し、新しいエンターテインメントを提案していく場所と考えています。7月には「りらくの森」に日本初登場となるセブストリートメントサロン「ヒロット」を新設し、占いパーク「占者ストリート」をオープンするなど、10周年を機に4つの施設がオープンしました。このように常に変化し、鮮度を維持していくことが、我々の務めだと思っています。

——ナムコの施設の特長は？

東 ナムコは1955年に、百貨店の屋上に木馬2台を設置して誕生しました。それ以来ずっと、我々のアミューズメント施設はファミリーを対象にしており、この分野ではトップ

クラスとなっています。もう一つの特長は、室内型テーマパークという分野をいち早く作り上げたことです。こちらの分野でもナムコは業界をリードしています。

——新しいジャンルにも積極的に進出していますね？

東 ナムコのアミューズ施設には、お子様からティーンエイジャー、ファミリー、そして高齢者まで、幅広い層の方々がお見えになり、遊び方もさまざまです。こうしたお客様に楽しんでもらうためには、ゲーム以外にもいろんな方法があると考えています。フードテーマパークもその一つですし、スパなどもそうです。ナムコの温浴施設は、単に温泉で身体を

## Portrait

### 「タイムクライシス」のゲームデザイナー

（株）バンダイナムコゲームス コンテンツ制作本部 ゲームデザイナー 薩川 隆史

人気ガンシューティングゲーム「タイムクライシス」シリーズ。発売以来10年以上経った今でも人気を維持し、6月には業務用「タイムクライシス4」を発売しました。今回は、同シリーズの立ち上げから携わっているバンダイナムコゲームスの薩川隆史ゲームデザイナーに聞きました。

Q ガンゲームが好きだったのですか？

A 入社してすぐにシリーズ最初の業務用「タイムクライシス」に参加し、それ以来、業務用と家庭用のシリーズのほとんどに携わってきましたが、実は入社する以前は、ガンゲームにあまり興味がなかったのです。詳しくなかったからこそ、客観的な視点でお客様の好みを取り入れることができました。今はもちろん好きです（笑）。それにやりたいことができるという喜びも大きいですね。

Q 制作する上で意識していることは？

A ガンゲームというのは、国内以上に欧米を中心とした海外市場で人気があります。「タイムクライシス」は最初からワールドワイドを視野に展開していますので、日本のユーザーだけでなく、世界中の誰が見てもわかる世界観を心がけています。また、その時々での社会的な時流などを取り入れることで、舞台を旬なものにしています。そのためにもニュース映像などをこまめに録画しており、演出などの参考にするため週末はアクション映画を観ることに費やしています。

Q 「タイムクライシス4」の工夫点は？

A 最大のポイントは遊び方を声で教えるボイススピーカーを導入したことです。ガンゲームはライトユーザーが多いので、複雑な説明を記載するのではなく、音声で遊び方をアドバイスしたり、盛り上げたりする

ことで、さらに楽しさを加えることができましたと思っています。このほかにも米国のアミューズメント施設をまわってマーケティング調査を行い、その結果を新しいゲームシステムや演出に反映させています。

Q 今後の展開は？

A 海外に比べると国内のガンゲーム市場はまだ小さく、今後はターゲットの拡大を目指し、さまざまな施策に取り組んでいきたいと考えています。また、将来的にはさらなる技術の進歩が見込まれますので、それをうまく利用して迫力やリアリティを追求し、ユーザーが簡単に“アクション映画の主人公になったような気分”になれる商品を提供し続けていきたいと考えています。



1994年入社。入社以来「タイムクライシス」一筋で現在に至る。

癒すだけではなく、そこに我々なりの遊びの要素を取り入れています。来春、横浜市にオープン予定の「玄創工房」も、単にカルチャーをテーマにした施設を作ろうというのではなく、中高年層が遊びながら自分の趣味を伸ばしていくことができる空間や時間を提供しようということです。また、8月にディスパをオープンするなど、ヒーリング分野にも本格参入しました。このようにナムコでは、フード、ヘルス、カルチャー、ヒーリング、エデュケーションなどの分野に事業を広げ、新しいチャレンジを続けていますが、こうした新規事業でも決して「遊び」という枠から離れることなく、ナムコらしさを発揮させていきたいと考えています。

## グループシナジーを発揮させ大型店舗を続々とオープン

——バンダイとナムコが統合してから1年。連携は進んでいますか？

**東** 今度、9月28日にJR川崎駅前に開業するラゾーナ川崎プラザ内に、約1,150坪の大型施設「ナムコ ワンダーパーク ヒーローズベース」をオープンします。これはナムコだけではなく、バンダイをはじめとするバンダイナムコグループのノウハウを融合したもので、経営統合の集大成とも言えるグループシナジーが随所にちりばめられています。バンプレストとバンダイナムコゲームスが技術の粋を集めて共同開発した大型筐体「機動戦士ガンダム 戦場の絆」も設置されますし、円谷プロダクシ

ョンさんのご協力を得て、今年で40周年を迎えたウルトラマンをテーマとしたキッズアミューズメント&ショップの「ウルトラマンCLUB」もつくります。また、バンダイナムコグループの強みであるキャラクターを使ったショーやイベントを行う「HERO'S STAGE」や、おもちゃの工場をイメージした空間でカプセルトイ、玩具菓子、カードなどのキャラクターグッズを扱う「C<sup>2</sup> (シーツ) ファクトリー」などのスペースも設けます。ナムコではこのほか、今期中に10店舗以上の大型店の出店を計画しており、アミューズメント施設のほか、スイーツやヒーリングなどの施設もオープンします。

——海外展開の状況は？

**東** アメリカ地域では現地法人のナムコ・サイバーテインメント社がアミューズメント施設を運営しており、直営店が100店舗以上あるほか、レベニューシェア（オペレーション売上歩率配分方式）によるアミューズメント機器の設置場所も1,000か所を超えます。アメリカでは引き続きレベニューシェアを推進する一方、新たな施設事業を開発し、事業の拡大を目指していきます。ヨーロッパではナムコ・オペレーションズ・ヨーロッパ社が、イギリスとスペインの2か国を中心に事業を展開しています。ヨーロッパの特色は、ボウリング場やダンスホール、ビリヤード、バーなどが一つの施設を形成し、そこにアミューズメント機器も置かれているということです。この複合施設がイギリスを中心に好調で、このほど



ひがし じゅん

### ■ 東 純 社長のプロフィール

<経歴> 1953年4月18日生 京都府出身  
76年3月 玉川大学工学部卒業  
76年4月 (株)ナムコ入社  
91年6月 取締役営業企画部長  
99年6月 常務執行役員営業企画本部長  
02年5月 常務執行役員  
ETカンパニープレジデント  
04年4月 専務執行役員  
ETカンパニープレジデント  
04年6月 取締役ETカンパニープレジデント  
05年4月 代表取締役社長  
ロケーション事業管掌 兼  
ETカンパニープレジデント  
06年3月 (株)ナムコ代表取締役社長に就任

さらにイギリスの複合型ボウリング施設4店舗を取得し、事業の拡大、収益の安定化に取り組んでいます。アジアは、香港と上海の2か所にある現地法人で運営しています。課題もありますが、人口は大きく、マーケットもこれからどんどん拡大していきますから、今後の成長が期待されています。国内の既存店の状況もクレーンゲームやカードゲームの好調などにより、回復傾向にありますので、今年は国内外ともに積極的に事業を展開していく計画です。

## 編集後記

本号でもお伝えしましたように、8月8日にバンダイナムコグループの2007年3月期第1四半期の業績を発表いたしました。おかげさまで、グループ初の中期経営計画のスタートとし

ては、当初の計画どおりの実績をあげることができました。

さて、まもなく経営統合より1年を迎えます。我々のグループならではのシナジーを活かした施設、ゲーム機器、商品やサービスが続々と登場してきており、現在進行中の企画にもさまざま

なものがあります。こうしたバンダイナムコグループの新しい動きにつきましても、これから本紙で随時お伝えしていく予定です。

今後ともご支援、ご指導のほど、よろしく願い申し上げます。

(社長室 広報IR担当)

(表示価格はすべて税込です。仕様・発売日・価格などは本紙発行時点の情報につき、変更になることもあります)

## 「HYPER HYBRID MODEL 1/12 RX-78-2 GUNDAM」 12月16日発売予定／35万円 (株)バンダイ

(株)バンダイは、20～40代の男性をターゲットとした大型組み立てキット「HYPER HYBRID MODEL (ハイパー ハイブリッド モデル) 1/12 RX-78-2 GUNDAM」を発売します。これは人気アニメ「機動戦士ガンダム」に登場する主役のモビルスーツ「RX-78-2 GUNDAM」を1/12のスケールで再現したもので、全高約1.5mという今までに類を見ない大型で精巧な組み立てキットとなっています。

バンダイは2001年12月に、第1弾「HYPER HYBRID MODEL 1/12 MS-06S ZAKU II」を発売しましたが、207,900円(税込)という高価格商品でありながら、20～40代の男性を中心に人気と

なり、約1,500体を販売して大変な話題となりました。

今回は新たに可動部分の内部に金属パーツを入れ、ポーズの自由度を格段にアップさせました。また、専用の赤外線リモコンでバルカン砲内部や目の部分など数か所を点灯・点滅させたり、劇中で使われている機動音やバルカン砲音などの効果音を15種類楽しむことができます。

さまざまな新技術の融合で、よりリアルに、精密にガンダムの世界観を再現し、大人が満足できる究極のキャラクターモデルを実現しています。なお、全国のホビーショップのほか、インターネットでの販売も予定しています。



©創通エージェンシー・サンライズ

## 写真シール機「パシャパシャシール たまごっちとたまツーしょっと！」

8月上旬より順次稼働中／1プレー 300円(出荷時設定) (株)バンダイナムコゲームス

バンダイの人気携帯ゲーム「たまごっちプラス」シリーズのキャラクターと世界観を使用した子供向け写真シール機が、グループのシナジー企画により登場しました。プロのカメラマンがセッティングしたストロボやライティング、高画質のカメラを搭載し、高いクオリティの写真シールが作れます。また、「たまごっち」本体の赤外線通信機能を使用して、自分の育てた「たまごっち」のキャラクターを写真シール機に送信すれば、世界で一枚だけの自分と「たまごっち」の思い出の写真を作ることができます。

写真シールには、「キャラクターシール」や「アイテムシール」などが印刷されるので、友

達と交換したり、手紙やシール帳に貼ったりと、友達同士のコミュニケーションツールとして遊ぶことができます。また、シールを印刷する間に再度通信機能を使用すると、「たまごっち」本体にここでしか手に入らないアイテムが届くなど、写真シール機と「たまごっち」の双方をつないだ“遊び”が楽しめます。ほかにもタッチペンを使用したミニゲームや400種類を超えるスタンプを収録したり、カメラ位置を低く設定するなど、子供たちが親や友達と一緒に楽しめる“遊び”や“仕掛け”を取り入れました。



©2006 NBGI ©BANDAI・WiZ 2004

## 業務用ゲーム機「機動戦士ガンダム 戦場の絆」

9月より順次稼働予定／発売元：(株)バンプレスト 販売元：(株)バンダイナムコゲームス

ガンダムの世界が体験できるコクピット型の業務用ゲーム機として、昨年秋のアミューズメントマシンショーや、今年5月の公開ロケテストなどで話題を集めてきた「機動戦士ガンダム 戦場の絆」が、いよいよ9月より全国のアミューズメント施設に順次投入されます。

「戦場の絆」は、(株)バンプレストのキャラクターマーチャンダイジングのノウハウと、(株)バンダイナムコゲームスの技術力の融合により誕生した対戦ゲームマシンで、地球連邦軍とジオン公国軍に分かれ戦い、最大8対8のリアルタイム対戦が可能です。プレイヤーは、「P.O.D.」と呼ばれる半球型ドームのフルスクリーンで、視界の左右や上下にも映し

出される迫力満点のゲーム画面に向かい、レバーとペダルを使って操作。あたかも本当にモビルスーツ(ロボット)のパイロットとなって、戦場にいるような臨場感のあるゲームを楽しむことができます。「戦場の絆」は、ユーザー同士がもっと施設内でゲームを通じて触れ合いを感じてもらえるように、“ユーザー同士のコミュニケーション”をマシンコンセプトとしています。敵軍に勝利するためには、個人の熟練度よりも他人と助け合うチームプレイが最大の戦法となっており、仲間との「絆」が強いほどゲームで勝ち進むことができます。



©創通エージェンシー・サンライズ

